

平成18年度

次世代育成支援対策交付金事業の評価及び改善に関する報告書

秋田県大館市市民部福祉課

対象事業

育児支援家庭訪問事業
 子育て短期支援事業
 延長保育促進事業
 乳幼児健康支援一時預かり事業
 へき地保育の推進

事業名	育児支援家庭訪問事業
事業内容	関係機関等からの情報収集等により把握した養育困難家庭で養育支援の必要性があると判断したものに対し、保健師等による具体的な育児支援に関する技術的援助を訪問により実施する事業
実施施設	保健センター
H18年度計画	訪問家庭 65か所 訪問件数 70件
H18年度実績	〃 52か所 〃 60件
H18評価	事業量 実績は昨年度を若干上回っている。概ね予定通り実施できた。
	事業内容 ハイリスク妊婦や育児不安の強い親子、養育不安な家庭等へ早期に関わることで、虐待の予防や自信を持って育児に取り組む支援ができた。
	連携・協力・協働 福祉、保健の関係者で定期的に検討会議を開催し、情報の収集、伝達など連携ができた。
H18改善点等	連絡がつかない対象者や訪問を拒否する家庭等があることから、定期健診等の機会も活用し、生後4か月未満までに対象家庭・乳児等の状況把握に努め、さらなる指導の徹底を図る。
H19年度計画	訪問家庭 55か所 訪問件数 60件

事業名	子育て短期支援事業（トワイライトステイ）
事業内容	保護者が仕事その他の理由により平日の夜間又は休日に不在となり家庭において児童を養育することが困難となった場合その他の緊急の場合において、その児童を実施施設において保護し、生活指導、食事の提供等を行う事業
実施施設	白百合ホーム（母子生活支援施設）
H18年度計画	開所時間 夜間養護基本分 児童の下校等の時間～22時 休日預かり分 8時30分～22時 夜間養護基本分 2,100人/年 休日預かり分 600人/年
H18年度実績	夜間養護基本分 1,481人/年 休日預かり分 418人/年
H18評価	事業量 実人員は前年度とほとんど変わらないが延日数が減っている。18年度、自己負担分の引き上げがあったため、1世帯の利用回数が後半減ったためと思われる。
	事業内容 利用実人員が前年度並みであることから、平日の夜間及び休日等に養育が困難な児童についての保育需要に対応している。
	連携・協力・協働 事業の周知や情報提供について、実施施設や関係機関等と協力できた。
H18改善点等	実人員は前年度とほとんど変わらないが延日数が減っている。18年度、自己負担分の引き上げがあったため、1世帯の利用回数が後半減ったためと思われる。今後さらに事業の周知に力を入れる。
H19年度計画	開所時間 夜間養護基本分 児童の下校等の時間～22時 休日預かり分 8時30分～22時 夜間養護基本分 2,110人/年 休日預かり分 550人/年

事業名	延長保育促進事業（延長保育事業及び延長保育推進事業（民間）分）
事業内容	就労形態の多様化等に伴う延長保育の需要に対応するため、保育所の開所時間を越えた保育を行う事業
実施施設	大館乳児保育園
H18年度計画	開所時間（延長分含む）7時～19時 （うち延長開所時間18時～19時（後1時間延長）） 平均対象児童数 8名
H18年度実績	平均対象児童数 9名（延利用児童数1,788名）
H18評価	事業量 概ね計画通りの実施ができた。
	事業内容 入園希望の理由として、延長保育を実施しているからという場合が多く、保護者の需要にこたえていると思われる。
	連携・協力・協働 実施施設と保護者の間で利用に関してよく話し合われており、状況も良好である。
H18改善点等	良好に事業が実施されていることから、今後も同様に継続していく。
H19年度計画	開所時間（延長分含む）7時～19時 （うち延長開所時間18時～19時（後1時間延長）） 平均対象児童数 8名

事業名	乳幼児健康支援一時預かり事業（病後児保育：施設型）
事業内容	現に保育所に通所中の児童等が病気の「回復期」であり、集団保育の困難な期間、当該児童を保育所、病院等に付設された専用スペースにおいて一時的に預かる事業
実施施設	大館乳児保育園病後児保育室
H18年度計画	開所時間 8時～18時 利用児童数 40人/年
H18年度実績	利用児童数 87人/年
H18評価	事業量 概ね計画通りの実施ができた。
	事業内容 病気回復期で集団保育が困難な期間、当該児童を預かることで、保護者の需要に応えている。苦情等もなく、病後児保育が適切に実施された。
	連携・協力・協働 地元医師会及び各医院の協力により、利用の際の診断書等の交付も比較的スムーズに行うことができた。また、事業周知・利用手続き等についても関係機関等の協力により適切に実施された。
H18改善点等	今後も事業周知に努め、さらに利用促進を図る。
H19年度計画	開所時間 8時～18時 利用児童数 40人/年

事業名	へき地保育の推進（へき地保育所）
事業内容	交通条件及び自然的、経済的、文化的諸条件に恵まれない山間地、開拓地、離島等のへき地における保育を要する児童に対し、必要な保護を行う事業
実施施設	へき地保育所
H18年度計画	施設（へき地保育所）数 10か所 （葛原、二井田、真中、下川沿、沼館、花岡、矢立、長木、雪沢、大葛） （うち交付金対象（平均利用児童数10人以上）施設 葛原、雪沢除く8か所）
H18年度実績	平成19年3月31日現在 入所児童数 337名 （うち交付金対象施設 入所児童数 321名） 1日あたり平均利用児童数 245人 （うち交付金対象施設 平均利用児童数 234名）
H18評価	事業量 計画通り実施できた。
	事業内容 既存認可保育所から距離があり、通所等が不便・困難な地区で要保育児童の保育に対応できた。
	連携・協力・協働 児童の送迎や保育中の児童に関する連絡等、保護者の協力により概ね順調に対応できた。また、近隣住人の協力により施設内外の行事等を効果的に進めることができた。
H18改善点等	既存認可保育所等での対応が困難な地区を補完していることから、今後も引き続き実施していく。
H19年度計画	施設（へき地保育所）数 10か所 （葛原、二井田、真中、下川沿、沼館、花岡、矢立、長木、雪沢、大葛） （うち交付金対象（平均利用児童数10人以上）施設 葛原除く9か所）